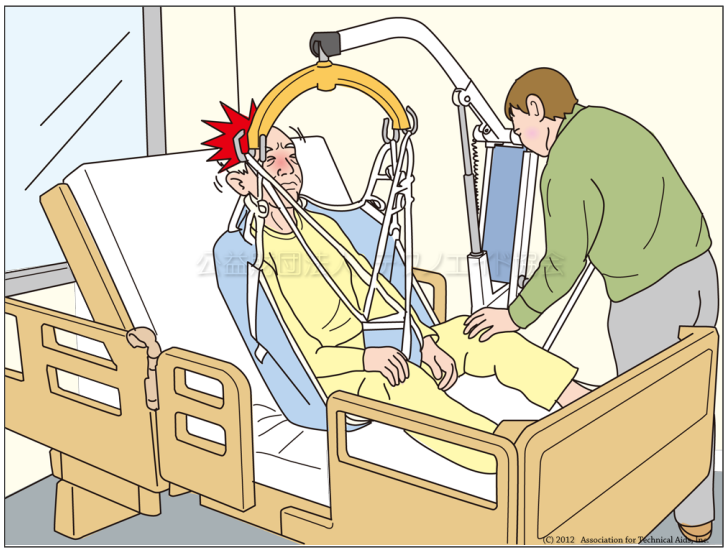
Case：80

ハンガーが利用者の頭にあたり、ケガをしそうになる

場面の説明

リフトの操作に集中して利用者から目を離してしまい、ハンガーが利用者の頭にぶつかった



利用シーン	移乗
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード (CCTA95)	123603 (吊り上げ式床走行リフト)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ハンガーは利用者の顔の近くまで接近し、見た目にも恐怖感につながるので、介助者は常に手で押さえ、ぶらつかせないことが基本です。リフトを使った移乗介助には多くの注意点がありますので、それらをしっかりと把握し、練習した上で利用してください。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：介助者に対する操作の指導が十分ではなかった
人：操作の手順、注意点を忘れてしまった
モノ：ハンガーの色等で注意を喚起するデザインになっていなかった
管理：正しい取扱い方法を伝える研修機会が設けられていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.